

修学旅行新聞

発行所 財団法人協会 全国修学旅行研究 千代田区千代田一 101 東京都千代田一 101 神田区錦町1-17-1 (NK第一ビル) 03 (5259) 0631 振替 00160-7-36337

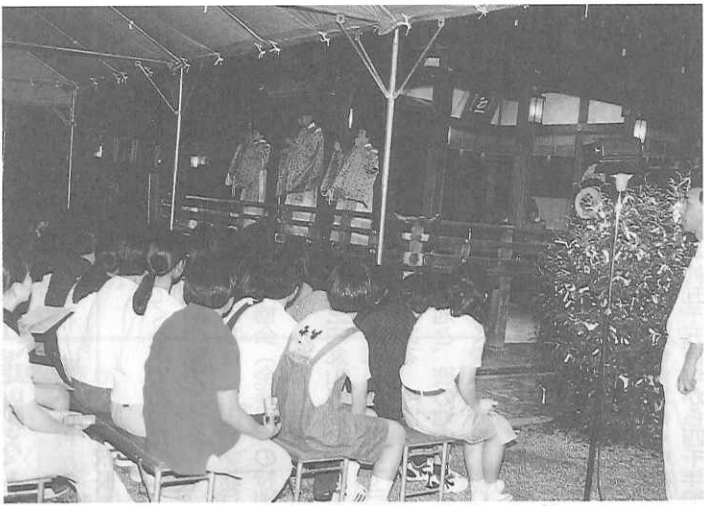
財団法人全国修学旅行研究協会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

公立校185校が海外へ 航空機利用は1,430校に

平成7年度修学旅行基準調査から

財団法人全国修学旅行研究協会(鈴木力理事長)では、今年も公立学校の修学旅行基準についての調査をまとめたが、本年度の特徴は、海外修学旅行実施基準の改正、検討をする教育委員会の動きが目立ち、そうした傾向の中で、海外修学旅行の実施校数の増加が認められる。

平成7年度の海外修学旅行実施校は、公立高等学校(含養護学校等)百七十七校、公立中学校八校となっている。旅行先は、高校ではアジア諸国が百六十七校(94.4%)、うち韓国は百九校(61.6%)、ほかには



夜の京都で舞楽鑑賞のひととき

(東京都保谷市立青風中学校 3面に関連記事)

メリカ七校が目立つが、そのうち短期研修が二校で、英文科コースの二十二日間、英語科コースの二十五日間であった。高校の特色化や新しい学科・コースの設置が進んでいるが、こうした高校の積極性をうかがうことができる。中学校では韓国七校、中国一校となっている。

過去の京都への修学旅行 昨年15年間で最低に

京都市産業観光局がまとめた平成七年「京都市観光調査年報」によれば、昨年一年間に京都市を訪れた観光客は三千五百三十四万人で、前年に比べ四百三十三万人(10.9%)減少した。平成六年には平安建都二一〇〇年の記念行事が行われ、最低となった。市では震

主張

修学旅行の教育性充実を目指して

理事長代行 前田 寛

修学旅行が教育的に有効適切に実施されるためには、十分な安全確保を最優先に、教育内容の充実と保護者に過重な負担をかけない配慮がなされるべきである。

すなわち、(例)全修協では、修学旅行の改善向上のための運動を推進するに当たって、①安全性の確保の教育性の充実②経済性の適正化の三つを、基本条件として位置付け、創立以来四十年間一貫した方針として取り組んできている。

安全性の確保については、全国二千三百校五十万名の児童生徒の連合体輸送を掌握管理して、専用電車による快適安全な輸送を実現させ、経済性の適正化については、連合体輸送に加盟す

第11回全修協修学旅行セミナー

日時 9月20日(金)
13時30分~16時30分

会場 江戸東京博物館
(JR両国駅下車)

テーマ 「二十一世紀を展望する修学旅行」

基調講演 (財全修協シンポジウム)
コーディネーター 文部省 高橋哲夫教授
学旅行委員会木下脩三

近畿地区公立中学校修学旅行委員会木下脩三
03-5259-0631

運営委員長(大阪狭山) 市立狭山中学校長
主催 財団法人全国修学旅行研究協会
後援 文部省、関東各都府県教育委員会ほか

災によるキャンセルと児童生徒数の減少、修学旅行形態の多様化等が原因と分析している。

学校種別では、小学校が十三万人で二万人減、中学校が五十三万人で七万人減、高等学校が三十五万人で六万人減と、比率では高校の減少が最も大きい。

また、京都に宿泊した修学旅行客も百一万人と、前年(10.9%)減少した。平成六年には平安建都二一〇〇年の記念行事が行われ、最低となった。市では震

四、修学旅行実施にかかわる諸条件の整備に対する研究と改善実施
五、修学旅行の教育における位置付けの明確化
六、組織的研究の推進

一・二・四・六に関する行事は、昭和五十九年から文部省後援のもとで開催し、本年第十三回を数える「全国修学旅行研究大会」である。開催地域内の中学校を研究協力校に委嘱し、その修学旅行実施体験に基づき報告の中から問題点を浮き彫りにし、その総合的解決に資することを目的としている。

三・五・六に関する行事は、昭和六十一年に始まり、六十二年(第三回)から文部省の後援を得、本年第十一回目を迎える「全修協修学旅行セミナー」である。文部省の担当官ほか学識者を講師に招き、その基調講演の中から、修学旅行の今日的課題、将来的課題を追求し、その理論的解明を行って

風紋

環境庁から、「日本の音風景百選」が発表された。全国各地から寄せられた七百三十八件の中から選ばれたものだ。札幌の時計台や三井の晩鐘などの生活文化、鳴門の渦潮や那智の滝などの自然現象のほか、淀川河川敷のマツシなどの生物にかかわるものも入っている。自然と生活の中、よい音環境を守っていくという計画は、各地で反響を呼んでいる。二年前前に「東山の夏」(鴨川三郎)など、京都の自然や人工の音を曲にして発表された「コンサート」があった。

「私たちが住みたい京都の音風景」と名付けられたこの試みは、童謡や民謡を基本に、森や町で録音した鳥のさえずりや寺の鐘の音などを織り込み、聴衆を魅了した。先日、アトラクタ・オリンピックに先立って、TVで映画「東京オリンピック」が放映された。記録が芸術家で、オリンピック担当大臣がクレームをつけた作品だった。行進の足音、スターティング・ブロックをたたく音、旗さおの風の音、燃える聖火の音など、クローズアップを駆使した映像とともに、音にこだわったのが市川崑監督だ。八月、猛暑が続き、街では携帯電話がまぶしすぎ、軒先の風鈴、名もない小川のせせらぎが涼を届け、心を和ませてくれる。秋来ぬと目にはさやかに見えぬ。藤原敏行。やがて列車や汽笛の音とともに、修学旅行生の歓声が各地にこだまする季節がくる。

第十一回は、来たる九月二十日(金)東京・西国の江戸東京博物館第一会議室において「二十一世紀を展望する修学旅行」のテーマによって、文部省教授・元文部省教科調査官高橋哲夫氏をコーディネーターに招き、関東・東北・近畿各都府県修学旅行委員会代表(中学校長三名をパネラーとする)シンポジウム形式をもって行われる。各パネラーからは、学校長の立場からの考察に基づき、次の各協議課題についての提言が行われる。

一、自校及び関係地域の修学旅行の動向とその評価
二、時代の展望と修学旅行の新しい役割
三、この提言に基づいて、参加者からの質疑が行われて協議を深め、高橋教授によって「二十一世紀に向けた修学旅行の展望」として総括されることになる。修学旅行のあるべき姿・ありたい姿について、多くの示唆を与えられることが期待される。

夢と感動の修学旅行

人が好き。地球が好き。旅がスキ。

近畿日本ツーリスト

運輸大臣登録旅行業第20号 (社) 日本旅行業協会会員

楽しい旅に、大きな安心。

東京海上火災保険株式会社

「学校旅行総合保険」をおすすめします。

本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

縄文人の心意気

—三内丸山遺跡をたずねて—

東京都板橋区立板橋第九小学校

校長 矢谷 由美子

・江戸の頃より

「三内村に小川有る此川より出候瀬戸物大小共に皆人形に御座候是なども熟知らず申候」

安永七年(一七七八)に山崎立林が編集した水鏡日記の元和九年(一六三三)正月二日の条に記してあるといふ。

また、三河国出身の菅江真澄の紀行文「栖霞の山」四月十四日に、三内の地で見られた縄文土器や土偶について「縄形、布形、古き瓦、人の頭、仮面などの形のものあり」とスケッチ入りで書いてあるといふ。

三内丸山は、既に江戸時代より希代な大小の人数が大型竪穴住居跡。盛り土と

出てくる所であった。

・講師の魅力

今回は、全国修学旅行研究協会(全修協)の特別研修「みちのく旅の文化教室」三内丸山遺跡と青森史跡「三内丸山遺跡と青森史跡」に参加した。これで三日目である。今回もまた、彼の地と、彼の地の文化をよまなく愛し、守り、誇り且つ強さと優しさに溢れる現地講師の方の話を聞くことができた。

・国内最大の縄文集落
縄文時代前期から中期。約五千五百年から四千年前の約千五百年間継続し、定住して営まれていた集落。

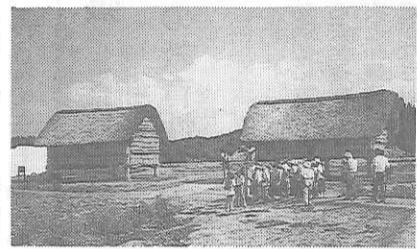
五百を超える竪穴住居跡。巨大竪穴住居跡。盛り土と縄文文明と言つべきだが、

その中に廃棄された大量の土器群。子どもの墓と大人の墓。その埋葬。ある規則的な配列をもつ六基の巨大柱の穴の発見。等々。マスコミから流れる情報を切り抜き、ビデオ予約をしつつ、昨今の発掘ブームの中で、三内丸山は早く行かねばと心せくものが、私を占めていた。

・知事決断

三内丸山は、県営運動公園拡張事業の一環として野球場の建設予定地。平成四年発掘調査時点では、既に三内丸山、一里側スタンド工事が開始されていた。

巨大遺跡、日本最大、否、縄文文明と言つべきだが、遺跡で説明を聞く参加者



遺跡で説明を聞く参加者

熱意、ロマン渦巻く中、異他期待の保存が決定。

・環境に配慮

三内丸山は、台地上に幾筋かの川、北東の海が隣接し、林(現在は針葉樹)に囲まれ、今より気温が数度高い等の条件を巧みに生かして生活し続けた。ポロンテ「西側の川は、みちのく地方の川は飲料水用の川と分けていた」と調査でわかってきた。

集落が千五百年も続いた謎は、徹底した環境や衛生管理と知恵が生かされてきたにちがいない。医学も大きく進歩する今も伝染性の病が人々を震撼させる。三内丸山人の環境管理に学ぶものがある。

・子どもは宝

子どもの墓群が、住居近くから出る。育ちにくい子どもが、一日も早く母の胎内に戻れとの願いが込められていると聞く。少子化の中で、心身健やかな子どもの成長が図られているか。これまた三内丸山人からの警鐘ではなからうか。

・環日本海の、高い文化圏
今回、青森県内の縄文遺跡、亀が岡や川も見学した。そこで遮光器土偶や合掌土偶、藍胎漆器等の高い縄文文化に触れた。樋口教授の説く環日本海の文化に興味は増すばかりである。

先輩の案内で キャンパス見学も 岡山・玉野光南高の 進路校外研修

岡山県立玉野光南高等学校は、毎年夏休みに二年生の「進路校外研修」を行っており、今年も関東班と関西班に分かれて研修を実施した。



先輩がキャンパスを案内(青山学院大学)

コンピュータの実習(近畿日本ツーリスト・恵比寿)

学、企業等を訪問した。先輩が出迎えてキャンパスを見学したり、夜は東京ドームでJリーグ・川崎対ラシン(アルゼンチン)を観戦したり、有意義な東京での四日間を過ごした。

△今年度の研修先▽
慶応義塾大、早稲田大、上智大、明治大、東京理科大学、中央大、亜細亜大、東上野公園

近畿中学校修学旅行委員会
委員長に津田安啓氏

近畿中学校修学旅行委員会
委員長に津田安啓氏

委員
委員長 津田安啓(神戸市)
副委員長 山口勲(京都市)
副委員長 山口勲(京都市)
副委員長 山口勲(京都市)

委員
委員 田中繁治(大阪府)
委員 水本昌一(大阪府)
委員 河内長野(兵)

阪神淡路大震災の遺児たちに奨学金を!!
兵庫県学校厚生会と兵庫教育職員組合協議会

「わかば奨学金基金」
「わかば奨学金基金」
「わかば奨学金基金」

箱根高原ホテル
豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心にのこる思い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。
箱根高原ホテル
〒250-05 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595代 FAX.(0460)4-9488

修学旅行/林間学校/スキー体験学習
奥日光の自然と仲間たちとの語らい……
夏は林間学校、冬はスキー。自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください。鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり
奥日光高原ホテル
〒321-16 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)

修学旅行の楽しいお食事—
箱根彫刻の森美術館内
レストラン コンポート
◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-04 神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)2221(予約センター)

東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様にも、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL(03)3585-1046(代表)
東京 コマ旅行会館